



地球上すべての人びとに平和に生きる権利を

9条地球憲章の会 第40回公開研究会

柴田 桂馬さんの講演

東京の地域から戦争と平和を 見つめ続けての80年を語る



柴田 桂馬 (しばたけいま)

★略歴

1930年4月 東京に生まれる
1947年4月 早稲田大学附属早稲田工業高等学校2年に編入学、在学中全学自治会中央執行委員
1950年6月 全学連「イールズ声明反対、戦争反対」全国同盟休校。早稲田大学学生自治会も参加。大学当局は11月、同盟休校参加を煽ったとして自治会中央執行委員など25人を処分、柴田は3ヵ月停学。
1954年3月～ 豊島区の「東長崎原水爆に反対する会」事務局長
1955年5月～58年4月 東京大学職員組合書記
1956年7月～1961年 豊島区原水爆禁止協議会幹事長
1961年～1975年 東京平和委員会常任理事を経て事務局長、東京原水協常任理事
1975年6月～今日 東京原水協事務局長を経て、代表理事、現在顧問
2001年～今日 「東京都平和祈念館（仮称）」建設をすすめる会世話人

2024年

8月21日(月) 午後6時30分～8時30分

オンラインZOOMによる開催

参加費；1000円

参加申込みは、次のURLか、右のQRコードよりお願いします。

<https://www.facebook.com/9peacecharter/>

講演要旨

柴田桂馬さんは、東京空襲など東京の戦争体験と向き合いながら、戦後の生涯をかけて、東京の平和運動を担い続けてきた方です。

戦後の新制高校スタートとともに高校学生自治会に関わり、逆コース時代の大学では戦後黎明期の学生運動に参加。

1954年のビキニ水爆実験以来、東京の地域から原水爆反対の草の根の運動をすすめ、以来永年にわたって、東京原水協や東京平和委員会の事務局長などを歴任、東京の平和運動の中軸部分を担ってきました。94歳になられた今日でも、東京に都立の平和祈念館を求める運動の中心的役割を担い、東京都の平和行政を動かしてはじめています。

東京空襲の記録と慰霊の運動、米軍立川基地（砂川）反対の運動、原水爆禁止運動の始まりから第五福竜丸の保存運動、「東京都平和の日」条例の制定から「東京都民平和アピール」の採択など、東京の地域には歴史的にも重要な平和を求めた都民の運動があります。それらをリアルな体験者として語る人も、数少なくなっています。

戦後80年を迎える今、あらためて戦後日本の平和運動の歴史から学ぶ機会にしたいと思います。

連絡先 9条地球憲章の会事務局 9.globalpeace@gmail.com

HP <https://www.9peacecharter.org/>

FB <https://www.facebook.com/9peacecharter/>